

平成29年9月25日

大阪能率協会 常任理事
見学研修部 部長
菊本 辰道

「組織活性化研修」へのご派遣依頼について <追加回>

毎々格別のご高配を頂き、有難うございます。

第1回（10/17～18）及び第2回（11/1～2）が定員（25名）オーバーとなりましたので追加回を開催致します。

今、I o T（Internet of Things）が話題を呼び、A I（人工知能）の驚異と脅威が世上を賑わしております。これからは「I o T・A Iの時代」ではないでしょうか。I o T・A Iに背を向ける企業に明日はないと思います。企業を挙げてあらゆる部門がI o T・A Iを業務に取り入れていく努力が必要だと思います。私も昨年、電子書籍「教育の進化」を出版致しました。4～5年後に「電子書籍の時代が来る！」と確信しているからです。

企業が永続的に発展していくためには、「I o T・A I」への取り組みに加えて「**組織の活性化**」が必要だと思います。組織（会社全体・各職場）のメンバーがビジョンを共有し、各人の持ち味・専門をフルに生かし、協働することにより、1+1が10にも100にもなっていく、これを「**組織の活性化**」と呼びます。「I o T・A I」と「**組織の活性化**」は車の両輪と言えます。

「**組織の活性化**」はバランスシート（貸借対照表）には表われませんが、企業の「**見えざる資産**」であります。「**人材**」も然りです。これからの「大変動の時代」を乗り切り、発展する企業の条件は“見えざる資産”である「**組織の活性化**」と「**人材**」に最大の投資をすることにあります。

京都大学は上記2つに投資をしました。

京都大学では、総長特別顧問から“京都大学は国立大学法人になったので、打てば響く行動ができる風土をつくってほしい”との要請を受け、2007年から職員のうち**役付者全員**（部長・課長・グループ長）に1泊2日の「**組織活性化研修**」を実施しました。

影響力の大きい役付者がこの研修を受けて、①非常に「やる気」が出て②研修で計画したことを職場に帰って即実行することにより、「事なかれ主義風土」から「**チャレンジ風土**」に変化しました。

（添付の京都大学「組織活性化研修」アンケートご参照） 加えて③部門間の関係が良くなりました。

役付者からの要望で2009年～2012年 専門職員全員に「組織活性化研修」を実施しました。今、**京都大学は非常に活性化**しています。

詳しくは拙著の**電子書籍「教育の進化」**又は**電子書籍「教育の進化」PDF版**（添付）をご参照ください。『電子書籍「教育の進化」の読み方』（添付）をご参照

貴社から該当者をご派遣いただきたく、よろしくお願い致します。

記

1. 日 程 11月23日（木）～11月24日（金）（1泊2日）

第1日 9時集合 第2日 午後5時30分終了

2. 特 長 ①変化の時代を乗り切るには、職場のメンバー全員が主体性を持ち、衆知を活かすマネジメントが必要である。この研修では、**衆知を活かすマネジメント**を体得する。
- ②職場集団自身の**問題解決能力の向上**をはかる。
問題を感じる→最重要問題点を決める→ビジョンづくり→解決策・実行計画づくりのステップを演習によって体得する。
- ③**アンケートにより「職場診断」**を行い、「自職場の強み・弱み」を客観的に把握する。

3. 場 所 パナソニックリゾート大阪 (パナソニック㈱ 研修施設)
大阪府吹田市青葉丘南10-1 TEL 06-6877-0111
4. 対 象 者 課長、係長 1～4名
5. 参 加 費 12,960円 (講師料、テキスト代、会場代、宿泊代、食事代 消費税含む)
☆参加費は研修終了後、貴社に請求させていただきます。
6. 内 容

「組織活性化研修」スケジュール

	時 間	分	内 容	備考
第一日	9:00 ~ 9:10	10	・開講挨拶	
	9:10 ~ 10:30	80	1. 組織活性化の考え方	講義
	10:30 ~ 11:20	50	・自己紹介	
	11:20 ~ 12:30	70	・組織活性化の考え方 テスト	討議
	12:30 ~ 13:20	50	昼 食	
	13:20 ~ 14:10	50	2. チームづくりミーティング	演習
			3. 自職場診断	
	14:10 ~ 14:40	30	①職場診断の仕方	講義
	14:40 ~ 15:40	60	②自職場診断——各人作成	演習
	15:50 ~ 17:50	120	4. 組織活性化のステップ演習 ①問題を感じる→最重要問題点を 決める	討議
18:00 ~ 19:30	90	②ビジョンづくり	討議	
19:30 ~ 20:30	60	夕 食 (宿泊)		
第二日			③解決策→実行計画づくり	
	9:00 ~ 10:10	70	・戦略発想及び職場開発の方法	講義
	10:10 ~ 12:00	110	・解決策→実行計画づくり	討議
	12:00 ~ 12:50	50	昼 食	
	12:50 ~ 13:50	60	・発表・意見交換	発表
			5. 自職場活性化計画の作成	
	14:00 ~ 14:20	20	・職場ビジョンの作成	演習
	14:20 ~ 15:40	80	・自職場活性化計画の作成→発表	演習
		6. 行動指針づくり		
15:50 ~ 17:20	90	・強みと弱み相互指摘 ・行動指針の作成 →発表	演習 演習 発表	
17:20 ~ 17:30	10	・閉講挨拶		

7. 講 師 大阪能率協会 常任理事 見学研修部 部長
経営革新研究所 代表
元パナソニック(株) 教育訓練センター 部長
菊 本 辰 道

昭和36年京都大学卒。同年松下電器産業(株)入社、電池事業本部、技術本部を経て昭和45年(1970)本社教養訓練部に異動。以来、28年間教育を担当し、**管理者教育と組織の活性化・事業部の経営体質の強化・企業の経営革新**を担当した。

昭和50年から「**職場開発**」のブームを起し、昭和52年から**事業部ごとの「経営体質強化活動(組織開発)」**に取り組み、昭和58年から**企業の経営革新運動「Action-61」**を推進し、平成6年から3年間 **松下再生運動、「創造と挑戦」全社活動**の全社事務局を担当し、グランドデザインづくりから「**創造と挑戦の経営セミナー**」を開催し、松下再生に貢献した。

平成10年に同社を退職し、**経営革新研究所**を設立し、現在 パナソニック(株)を始め(株)リコー、オムロン(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、ヤマハ発動機(株)、(株)クボタ等の**管理者研修の講師と組織の活性化・事業部の経営体質強化(組織開発)のコンサルティング**をしている。

平成12年から平成15年までPHP研究所 講師、平成12年から平成17年まで中京女子大学 客員教授、平成16年から平成18年まで聖泉大学 人間学部 教授、平成18年から平成23年まで京都大学の「**組織活性化**」支援をした。

<著書> 「戦略としての組織開発」(学)産業能率大学 (共著)
「組織開発事例集 1」 (学)産業能率大学 (共著)
「組織開発事例集 2」 (学)産業能率大学 (共著)
「教育の進化について」(学)産業能率大学 「教育訓練の実態報告書」より
電子書籍「教育の進化」

8. お申込み 10月27日(金)までにEメールによって参加者の氏名・所属部署・役職を大阪能率協会(菊本)へご連絡願います。

☆ 講師派遣 貴社で「組織活性化研修」を開催される場合、講師を派遣いたします。

[研修費用] ・講師料 1日 7万円(手取り) ・テキスト代 1人当たり1,500円
・交通費 実費

[会場] 貴社でご手配ください。(宿泊なしも可能です)

[開催人数] 研修は1回当たり10名以上の人数で開催できます。(最大25名)

<申込先> 大阪能率協会 常任理事 見学研修部 部長 菊本 辰道
住 所 大阪府枚方市長尾台3-1-14
TEL&FAX 072-859-5066
携帯電話 090-5040-0719
E-mail: kikumoto-t@m01.fitcall.net

申込み期限：10月27日（金）

大阪能率協会 菊本行（E-mail：kikumoto-t@m01.fitcall.net）

「組織活性化研修」申込書

貴社名：			
住所：〒			
所属部署：			
責任者御氏名：	役職：	TEL：	
担当者御氏名：	役職：	FAX：	
E-mail：			

氏名	所属	役職
フリガナ		
フリガナ		
フリガナ		
フリガナ		

合計 12,960円× 名 = 円
